

2017年1月23日

## 事故情報の分析の試行について

(氏名) 市瀬 龍太郎

### 1. 目的

事故情報データベースに登録されている情報に関して、機械学習技術を応用した分析を行うことにより、事故の傾向を把握するための効率的な分析手法の実現の可能性について検証を行う。

### 2. 分析する事故情報の分野

事故には様々な形態があり、起こる事象は多様なものであるが、類似する事故が繰り返し起こることが指摘されている。例えば、学校において、児童・生徒が天窓から転落する事故は、数年毎に継続して発生していることが指摘されているし、レーシック手術を受けて危害が発生するという事故も継続的に発生している。そこで、頻繁に繰り返される類似した事故がどのような傾向で起こっているのかを分析の対象とする。

### 3. 分析において活用する技術

分析においては、機械学習の技術を活用する。機械学習は、多くのデータに共通する特性を発見できるという特徴がある。そのため、機械学習を利用し、類似した事故の分析を行うことは、事故の傾向の把握に有用と考えられる。

### 4. 期待される成果

機械学習の技術を活用して事故情報を分析することにより、頻繁に起こる類似した事故、繰り返し起こる類似した事故を早期に発見し、その特性を把握することで、迅速に対応ができるようになることが期待される。また、従来、把握が難しかった事故の特性を発見できることも期待される。